

# 学校司書の専任化・地位向上に必要なこと

阻むもの

学校司書に対する理解のなさ(全体)

要因

学校司書がない

学校司書の専門性が低い(無資格採用・パート感覚での仕事)

実践が足りない

関係団体で一致してアピールできない

国

自治体

教育委員会

学校

教職課程に司教科目を入れる

学校教育法に学司を位置づける

定数法改正  
学図法「努力義務」→「必置」

文科省の現状調査(5年→2年)  
実況がわかる調査項目・結果の公表

免許法改正—学司資格(単位増)

司教と学司の役割見直し  
(学図法改正「従事する」→「掌る」)

GIGAスクール構想など情報分野での学校図書館・学校司書の位置づけを明確にする

各自治体での学図担当指導主事の把握と実践例の共有

各自治体の教育センターでの学図担当者把握と実践例の共有

研修

情報提供

一致した見解とアピール

関係団体

子どもの読書推進計画の策定の中に学司も盛り込む

地方財政措置の活用

研修  
(司教と共に)

学図専門の指導主事  
教育センターに学図担当者

教員対象研修(新採用・5年次・10年次・管理職)で学図について知ってもらう

学図の年間計画・目標などの策定

分掌などでの学図活動の協働

授業などでの学図活用

専門・専任  
正規の  
学校司書配置

学びの変化(探究)による学図への注目

\*学図=学校図書館  
\*学司=学校図書館司書  
\*司教=司書教諭

## 富山県小中学校への学校司書配置状況(2022年5月1日現在)

市町村名	小中学校総数	学校司書数	勤務時間数	勤務形態
富山市	91	54	1日5時間	1校専任24名 2校兼務30名
高岡市	36	29	1日5時間	1校専任22名 2校兼務7名
魚津市	7	7	1日4時間	1校専任7名
氷見市	14	6	1日5.5時間	1校専任1名(週3日) 2校兼務2名 3校兼務3名
滑川市	9	5	1日3.75時間	1校専任1名 2校兼務4名
黒部市	11	7	1日4時間	1校専任3名 2校兼務4名
砺波市	12	12	1日6時間以内	1校専任12名
小矢部市	9	9	1日5時間	1校専任9名
南砺市	16	11	1日2～6時間	1校専任6名(週5～3日) 2校兼務5名
射水市	21	21	1日5時間	1校専任21名
舟橋村	2	1	1日7.5時間	2校兼務1名
上市町	7	2	1日6.5時間	7校を2名で巡回
立山町	7	5	1日4～7.5時間	1校専任3名(週2～5日) 2校兼務2名
入善町	8	3	1日2.5時間	公共図書館と兼務で各校巡回
朝日町	3	1	1日7.75時間	3校兼務1名
合計	253	173		

上記の表は、2022年度の富山県図書館協会の調査(富山県図書館協会報第210号掲載)をもとに、富山県図書館を考える会が作成。

令和2(2020)年度文科省「学校図書館の現状に関する調査」では富山県は小学校94.9%、中学校94.7%の配置率になっている。